2009年4月8日

株式会社 アルプス

KIKYOGAHARA PRESS No.9

長野県塩尻市塩尻町260番地 電話0263-52-1150

今年の冬は暖かく、雪もほとんど積もることはありませんでした。信州桔梗ヶ原にも一気に春がやって来るのかと思わせる暖かさの中、ブドウの木々は例年より１週間も早く水を揚げ始めました。しかし、３月下旬には寒さが戻り、水揚げも一休み。

枝先からこぼれ落ちる水滴は、休眠期から目覚めたブドウのあくびの涙のようです。

揚水期:この時期、活動を始めた根が、土中から水を吸い上げます。幹を通って枝の隅々まで行きわたり、剪定した枝の切り口から水滴がこぼれ落ちます。

写真撮影・文/原料・果樹試験課
青沼　豊晶

先日、塩尻工場の近くの自社農園に新たにメルローとシャルドネの苗を植えました。
大切に育てて美味しいワインを作ります。
（農園の後ろに見えるのが塩尻工場）

直径50cm、深さ30cmの穴を掘り、根を放射線状に広げて植えました。

接木部から10cmで剪定。芽からでた枝は、今年中に棚まで届くことでしょう。